

令和5年度 第1回羽島市子ども・子育て会議 会議録(要旨)

日 時	令和5年11月2日(木) 午後1時30分～午後2時30分
場 所	羽島市役所 3階 301会議室
出席者	<p>(委員) 出席者8名 布原佳奈会長、高砂房子副会長、浅野直美委員、北川山治委員、安藤理加委員、長島秀賢委員、田中真弓委員、長谷恵美委員</p> <p>(事務局) 12名 松井市長、横山健幸福祉部子育て・健幸担当部長、熊崎健幸福祉部次長(兼)子育て・健幸課長、國井子育て・健幸課健幸担当課長、高橋学校教育課長、木村福祉課長、佐藤保険年金課長、加藤子育て・健幸課子ども家庭センター所長、衣斐子育て・健幸課子ども家庭センター所長補佐、八島子育て・健幸課子育て担当課長補佐(兼)子育て支援係長、小森子育て・健幸課幼保支援係長、山北子育て・健幸課手当係長</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 会長・副会長の選出 会長は布原佳奈委員、副会長は高砂房子委員に決定</p> <p>4 議事</p> <p>(1) アンケート調査の実施について ―事務局より資料に基づき説明―</p> <p>(委員) 子育て支援に関するアンケート調査について、紙での回答様式であるが、今後はスマートフォン等で回答できるウェブアンケートの方が幅広いご意見を聞くことができるためにも、取り入れてはどうか。</p> <p>(事務局) スマートフォン等によるウェブアンケート調査も検討したが、子育て支援に関するアンケートは回答する選択肢が多いことや複雑な質問内容等も多いため、今回は紙での回答の方が、視覚的にわかりやすく回答しやすいと判断した。今後は、より回答しやすいウェブアンケート調査があれば、回答者の利便性の面からも、取り入れることを検討していく。</p> <p>アンケート調査にはサンプリング調査と悉皆調査があり、今回の調査はサンプリング調査である。ウェブアンケート調査は本当に該当者の方が回答しているのかどうかという問題が生じることがあるため、どのような調査方法にするかは慎重に見極めていく必要がある。</p>

(2) 第2期羽島市子ども・子育て支援事業計画における各課事業の進捗状況について

—事務局より資料に基づき説明—

(委員) 外国籍の児童生徒など言語が異なる特別な支援を必要とする児童が増加しているため、それに対応するために子ども応援サポーターの育成をお願いしたい。

また、情報モラルについては児童生徒へ指導しているが、なかなか追いつかない状況である。児童生徒の危機意識もまだまだ低く、ご自宅での危機意識をもっと持ってほしいため、親向けの対策を考えてほしい。

さらに、学校において不登校傾向で、なかなか教室に入れない児童生徒は、相談室等の場所で様々な先生が入れ替わり接している。常駐のスクールカウンセラーを配置することにより、児童生徒の心のよりどころとなり、居場所ができると良いと思う。

(事務局) 多様化する児童生徒のニーズや各校の実情に合わせて、サポーターの配置する人数を調整することや、スキルアップの講座をサポーターの方々に受講する機会を設けること等の取り組みを行っていききたい。

また、今年度からPTAと一緒に、スマートフォンやゲーム機等の使用に関するお願いという通知を行った。今後もPTAや関係団体の方々のご理解を得ながら、保護者への理解も深めていきたい。

さらに、スクールカウンセラーの加配については、人員等の課題もあるので、例えば拠点となる学校を決めて、フレキシブルに活動できる体制を教育委員会と協議していききたいと考えている。

(委員) 情報モラルについて、保護者も忙しく、なかなか浸透が難しいが、どのようなアプローチをしたら、より保護者の理解が深まるかという視点をプラスして情報発信を考えてほしい。

(事務局) 情報発信について、様々な意見を賜りながら、より良い情報発信を検討していききたい。

5 その他

6 閉会